

～ 日本海難防止協会シンガポール連絡事務所発SRO news ～
(Ref No : 18-043)

1 今週、国政選挙と同時に予定されていたミクロネシアのチューク州独立に関する住民投票が延期

[原文](#)

(21 February 2019, Channel News Asia)

【第19回ミクロネシアサミット関連】

2 「ミクロネシア5か国（パラオ、ミクロネシア、マーシャル諸島、キリバス、ナウル）は、南太平洋島嶼国だけでなくミクロネシア（北太平洋島嶼国）にも国連の事務所を設置することを求める」とミクロネシアサミット議長のパラオ大統領が発言

[原文](#)

(22 February 2019, Island Times)

※以下のIsland Timesは、時間帯によってアクセスできない場合がございます。その際は、お手数ですが時間をしばらくおいてから再度お試しください。

3 「ミクロネシア5か国にとって、アメリカ、日本、オーストラリアは重要なパートナーである」とミクロネシアサミット議長のパラオ大統領が発言

[原文](#)

(22 February 2019, Island Times)

4 ミクロネシア諸国首脳は、太平洋諸島フォーラム（PIF）及び同事務局に対して、同会議において、中国と台湾を同等に扱うように求める（公式発表）

[原文](#)

(25 February 2019, Pacific Note)

[原文](#)

(26 February 2019, Radio NZ)

[原文](#)

(26 February 2019, Taiwan News)

5 海洋資源を保護するというパラオ国家海洋保護区（PNMS）政策をミクロネシア諸国が支持することがミクロネシアサミット公式発表に明記

[原文](#)

(26 February 2019, Island Times)

6 「マーシャル諸島が提案した 2023 年までに IUU 漁業を根絶するというチャレンジをミクロネシア諸国は強く支持すべき」とミクロネシアサミット議長のパラオ大統領が発言

[原文](#)

(26 February 2019, Island Times)

[ミクロネシアサミット公式発表](#)

[MOU](#)

(22 February 2019, Government of Palau)

7 マーシャル諸島の首相は、「同国が海面上昇の影響から生き残るためには、環礁を島へと嵩上げしなければならない」と発言し、伝統的リーダーの協力を要請

[原文](#)

(25 February 2019, Marianas Variety)

8 ソロモン諸島南部のレンネル島（世界遺産地区）のリーフに、サイクロンの影響を受け、座礁した香港船籍貨物船（積荷：ボーキサイト）から、3 週間で約 60 トンに及ぶ油が流出。環境への悪影響が懸念（大きなうねりにより、タグボートが接近できず、貨物船の離礁が困難）

[原文](#)

(27 February 2019, Radio NZ)

【サモアによる違法操業の航空監視関連】

9 サモアがフォーラム漁業機関（FFA）との間で、地域航空監視プログラムに関する MOU に署名

[原文](#)

(27 February 2019, Samoa Observer)

10 サモアが、オーストラリアから違法操業監視用の航空機の供与を受けることに合意

[原文](#)

(28 February 2019, Radio NZ)

11 国連事務総長が、海洋資源を保護するために日本財団と協力することを約束（日本財団会から国連事務総長に対して、2021 年に約 70 か国の島嶼国首脳を東京に招聘し、気候変動への負の影響、海洋汚染への対応、海難救助の人材育成をテーマに話し合う会議について説明し、事務総長は会議への参画を表明）

[原文](#)

(1 March 2019, NHK World Japan)

12 国連の海洋特使（ピーター・トンプソン氏）は、太平洋島嶼国等の小規模

漁業や地域社会に悪影響をもたらすとして、漁業への補助金を止める迅速な政治的行動を要求

[原文](#)

(7 March 2019, Radio NZ)

13 中国とトンガを結ぶ直行便が、本年末までに就航予定

[原文](#)

(7 March 2019, Radio NZ)